



写真左から ①獅子舞・灯籠・お囃子 ②翁舞人形 ③舞台 ④のぼり

① 獅子舞や鶏舞、傘舞などを人形や灯籠で表し、お囃子も賑やかな移動体。

〈獅子舞〉

二つの勾玉型のカムで口が開き、ディスクのカムで頭が左右に動きます。動力は移動体のタイヤの回転からプーリーで伝えます。

〈灯籠〉

移動体の車軸からの巻取りでモーターが起動します。ベアリングを付けた台座で灯籠を回し、移動体が動くと金属が接触し、ライトが点灯。色々な舞と南部藩の家紋を影絵で楽しめます。

〈お囃子〉

車軸から動力をプーリーで伝え、中太鼓は二つの卵型カムで音が鳴り、バチを木と金属にして音色に変化を付けました。テビラガネは三角カムで速い上下運動をさせ鳴らします。大太鼓は車軸の巻取りでモーターが起動し、スタンプ機構でバチを動かし音を出します。

② Arduino 制御サーボモーターで舞う田子神楽翁舞人形

電力からの有線によるリモコン操作で翁舞の踊りを再現します。サーボモーターを使い独立な上下運動と左右の動きを実現しました。サーボモーターの制御は Arduino でしています。

③ カラフルに変化し祭りに花を添える田子神楽舞台。

田子神楽の舞台の前で扇子を鳴らすと音センサーが起動してモーターが回転します。モーターに取り付けたプーリーが布を巻き取ると白黒の舞台がカラーに変わります。同時に「たっこ王子(※)」とプロペラが回転し、にんにくにつけた鈴がなります。翁舞が連結し舞台下からも田子神楽の舞が出てきます。(※田子町名産のにんにくをモチーフにしたご当地キャラクター)

④ 八坂神社の中からせりあがり祭りを盛り上げる田子神楽ののぼり。

IC タイマーで一定の時間を過ぎるとモーターが動きローラーが回転、ローラーにつけたメジャーが伸びていき「田子神楽」と書かれたのぼりがせりあがります。そしてまた一定の時間が経つとモーターが止まります。